

江南市戦略計画

みんなの郷土 みんなで築くプラン

前期計画期間 平成20年度～平成22年度

達成状況報告書

〔骨子案(イメージ)〕



江南市

目 次

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方	1
1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは	1
2. 江南市戦略計画の進行管理	1
3. 行政評価システムの機能	2
4. PDCAのマネジメントサイクル	2
5. まちづくり会議の役割	2
第2章 前期計画期間の重点戦略	4
1. 市民協働の推進	4
2. 子育て支援・次世代を担う人材の育成	5
3. 市民生活に直結する都市基盤の整備	6
第3章 前期計画期間の達成状況	7
1. 全体の目標達成状況	7
2. 各分野の目標達成状況	8
I 生活環境、産業分野	8
II 健康、福祉分野	
III 都市生活基盤分野	
IV 教育分野	
V 経営、企画分野	
巻末資料	170
1 成果目標一覧	171
2 まちづくり会議の開催経緯	182
3 まちづくり会議設置要綱	184
4 まちづくり会議の構成（委員名簿）	186

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方

1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは

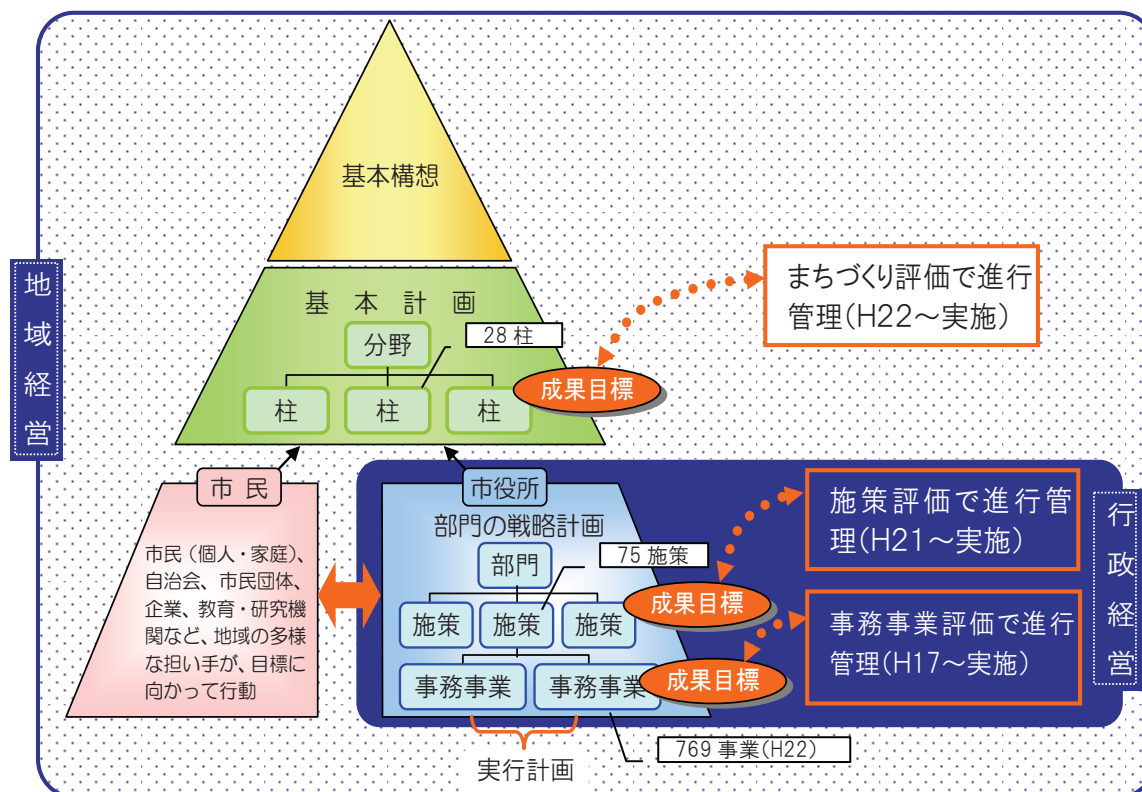
「江南市戦略計画」の進行管理は、基本計画に掲げられた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより実施することとしており、成果目標の達成度は、「まちづくり評価」を活用して測定し、今後の改善方策を検討することとしています。

基本計画の成果目標は、市民と市役所が協働でめざす目標であることから、「江南市まちづくり会議」を設置し、その達成状況についても協働で確認を行い、その結果については、短期的にはそれぞれの行動へ、中期的には次の基本計画の見直しへと反映させることとしています。

こうした進行管理の結果について、広く地域の構成員が共有できるよう、とりまとめたものが「江南市戦略計画達成状況報告書」です。

2. 江南市戦略計画の進行管理

江南市戦略計画の進行管理は、まちづくり評価・施策評価・事務事業評価の3つの行政評価システムを活用して実施しています。



【行政評価システムによる進行管理のイメージ】

3. 行政評価システムの機能

①まちづくり評価

基本計画に掲げられた各分野の「成果目標」について、その達成度を測定し、より良いまちづくりに向けての今後の取り組みの方向性を明らかにします。まちづくり全体の進捗状況（市民生活や地域社会の状態）を市民と市役所が協働で把握し、基本計画の見直しに活かすことを目的とします。

②施策評価

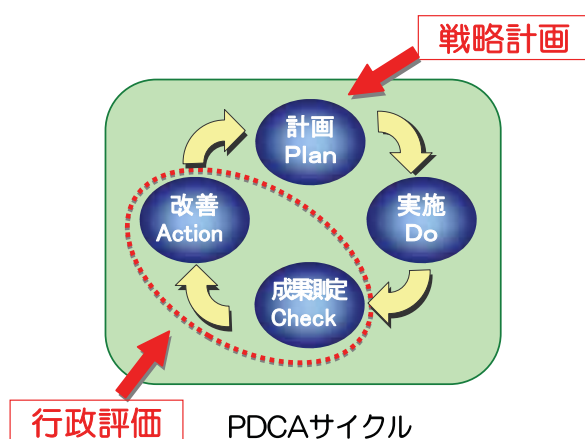
事務事業より上位のレベルで成果を把握し、行政活動の大きな方向性を明らかにするとともに、手段となる事務事業の重点化について分析し、資源配分へと反映させます。施策の分析と、事務事業評価から得られる事務事業の情報を連携させ、施策の方向づけと事務事業の相対的な方向づけ（重点化や改革改善）を一体的に行います。

③事務事業評価

事務事業について、個々の成果を把握し、改善方策を検討するものになります。事務事業の成果を検証することにより、職員の業務改善やコストに対する意識を醸成しながら、提供する行政サービスの質的向上をめざします。

4. PDCA のマネジメントサイクル

江南市戦略計画は計画の策定 [PLAN]、実施 [DO]、成果測定（評価）[CHECK]、改善 [ACTION] という PDCA のマネジメントサイクルを確立することにより適切に運用します。



5. まちづくり会議の役割

各分野のまちづくり評価、市民の役割に関する意見交換を行い、基本計画の見直しの検討を行い、江南市戦略計画達成状況報告書を作成することが目的です。

①まちづくり会議の委員

任期：委嘱の日（平成 20 年 7 月 16 日）から 4 年以内

人数：70 名

【内訳】

分野別会議 68 名：各分野に市民公募 4 名、各種団体代表 4 名、担当課長及び統括幹
全体会議 17 名：学識経験者 2 名、分野別会議の正副会長、分野の代表課長

②市民代表の委員の役割

- ・市民の立場から各分野の達成状況の検証と達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・市民の立場から市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること
- ・市民の立場から各分野の基本計画の見直しについて、意見を述べること
- ・戦略計画を推進するための方法についてアイデアを出し、また、そのための活動を可能な範囲内で実践すること

③市職員の委員の役割

- ・各分野の計画の達成状況について、説明と検証を行うこと
- ・市役所の立場から各分野の計画の達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・市役所の立場から各分野の基本計画の見直しに向けた意見を述べること
- ・市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること

④まちづくり会議の取り組み

《平成 20 年度》

まちづくり会議及び戦略計画の内容について説明

（分野別会議 1 回、全体会議 1 回開催）

《平成 21 年度》

施策評価結果について意見交換

（分野別会議 12 回、全体会議 1 回開催）

《平成 22 年度》

まちづくり評価、中期基本計画の見直し

（分野別会議 12 回、全体会議 1 回開催）

《平成 23 年度》

江南市戦略計画達成状況報告書の作成

（分野別会議 5 分野×3 回、全体会議 2 回開催）



まちづくり会議の様子

⑤結果の公表

まちづくり会議での評価結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く地域の構成員が共有できるよう、「江南市戦略計画達成状況報告書」としてとりまとめ、広報、ホームページ等で公表していきます。

第2章 前期計画期間の重点戦略

前期計画期間においては「市民協働の推進」「子育て支援・次世代を担う人材の育成」「市民生活に直結する都市基盤整備」を重点戦略と位置づけ、施策を進めてきました。その内容は次のとおりです。

1. 市民協働の推進

これからのまちづくりを進めるうえで、この3年間は、戦略計画の最初の3ヵ年であると同時に地域経営を進めていく重要な第一歩であり、戦略計画において本市がめざす地域社会のしくみである「だれもが主役、みんなで築く、みんなの郷土」を実現するための土台となる「協働による新しい地域社会」を構築するため、市民と市役所が協働するルールを定めるとともに、協働のパートナーづくりを進めました。

〔具体的取り組み内容〕

- 市民と市役所のそれぞれの立場や役割、責任を明確にする協働ガイドラインを策定する。
《平成20年度実施事業》
 - ・市民協働推進事業（市民協働のまちづくりガイドブック策定）

- 市民活動センターなどボランティア、NPOの活動拠点を整備するとともに、参画・協働が必要な分野、業務の情報を提供する。
《平成20年度実施事業》
 - ・市民活動の情報ステーション整備事業

- 市民協働のグループ立ち上げや活動を支援する。
《平成20・21・22年度実施事業》
 - ・公募型協働支援補助事業
 - 平成20年度採択事業 3件
 - 平成21年度採択事業 5件
 - 平成22年度採択事業 4件

- 新たな地域自治のしくみについて、市民とともに研究・検討を行う。
《平成20・21・22年度実施事業》
 - ・（仮称）自治基本条例検討事業（江南市市民自治によるまちづくり基本条例の制定）

2. 子育て支援・次世代を担う人材の育成

少子化が進む中、次世代を担う子どもたちの健全な成長は、未来への希望あふれる都市づくりの根本であると考え、ライフスタイルが多様化する中で、誰もが暮らしやすく、子どもたちがのびのび育つまちを実現していくためには、子どもが成長する喜びを社会全体で共有し、見守っていくことが重要です。こうしたことから、子育てに関する不安を取り除き、地域全体の連携により安心して子どもを産み育てられる環境を整備するとともに、次世代を担う人材を育成するため、教育体制を充実させ、教育環境を整備しました。

〔具体的取り組み内容〕

- 子どもが安心して医療を受けられるよう、乳幼児医療助成の拡充を図る。
《平成 20・21・22 年度実施事業》
 - ・子ども医療費助成事業

- 市の保育サービス全体の活性化を図り、長時間の延長保育・休日保育等の新たな保育ニーズに対応する。
《平成 20 年度実施事業》
 - ・子育て支援センター整備事業
《平成 20・21 年度実施事業》
 - ・次世代育成支援行動計画策定事業
《平成 20・21・22 年度実施事業》
 - ・保育園指定管理者制度導入事業
 - ・児童館指定管理者制度導入事業

- 少人数指導などきめ細かい指導ができるよう教育体制の充実を図る。
《平成 20・21・22 年度実施事業》
 - ・特別支援学級等支援職員配置事業
 - ・学校補助教員配置事業

- 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進を図る。
《平成 20・21・22 年度実施事業》
 - ・放課後子どもプラン事業

3. 市民生活に直結する都市基盤の整備

高齢社会や人口減少社会の中、市民の日常生活を支える上で重要な役割を果たす社会資本については、狭隘な道路が多く、駅舎の老朽化対策やバリアフリー化が課題となっているなど、質量とも十分とは言えない状況です。また、長きに渡り市民病院の役割を果たしてきた2つの厚生連病院の統合による新病院（江南厚生病院）の誕生が地域に及ぼす影響は大きいと考え、こうしたことから、ライフスタイルや地域の特性に応じた住環境の中で生活し、身近な地域で様々な活動ができるよう市街地の整備、下水道整備など、市民生活に直結する都市生活基盤を重点的に整備しました。

〔具体的取り組み内容〕

- 名鉄江南駅のバリアフリー化と併せ、江南駅及び布袋駅周辺を整備し、魅力的で快適な市街地の形成を推進する。

《平成20年度実施事業》

- ・江南駅バリアフリー化対策事業
- ・都市計画道路整備事業(江南通線)
- ・布袋地区都市再生整備計画策定事業

《平成20・21・22年度実施事業》

- ・布袋南部土地区画整理事業
- ・布袋保育園周辺整備事業
- ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
- ・都市計画道路整備事業(布袋本町通線)

《平成21年度実施事業》

- ・江南駅周辺交通環境改善事業

- 江南厚生病院、フラワーパーク江南を中心とした周辺一体の整備など、地域再生計画を着実に推進し、環境と市民生活が調和した豊かな生活の場を創造する。

《平成20年度実施事業》

- ・曼陀羅寺公園整備事業

《平成20・21・22年度実施事業》

- ・遊歩道・サイクリングロード整備事業
- ・花の広場整備事業
- ・緑化施設整備事業
- ・江南厚生病院周辺基盤整備事業

- 市民と共有できるビジョンや方策を盛り込んだ都市計画を定め、実現性の高い都市計画を推進する。

《平成20年度実施事業》

- ・都市計画マスタープラン策定事業

《平成21・22年度実施事業》

- ・緑の基本計画策定事業

第3章 前期計画期間の達成状況

1. 全体の目標達成状況

「江南市戦略計画」の全指標の平均目標達成率は102.7%となっています。また、達成率90%以上の指標は、74.6%で、概ね目標を達成している状況といえます。

項目	割合	件数
平均目標達成率	102.7%	—
達成率90%以上の指標(☀️マークの指標)	74.6%	159項目
達成率70%以上の指標(☘️マークの指標)	34.0%	34項目
達成率70%未満の指標(☔️マークの指標)	9.4%	20項目

《市民満足度の変化の状況》

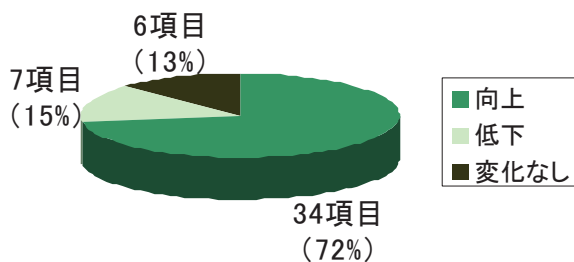
市民満足度がどのように変化したかをあきらかにするため、「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」(アンケート)を実施しました。基本計画掲載の指標のうち、市民の満足度や行動の実践度を示す指標47項目について、それぞれ前回調査からの満足度の変化を確認しました。

前回調査とは

「江南市市民意向調査」(平成18年4月実施)、または、「江南市市民満足度調査」(平成19年5月実施)をいいます。

満足度とは

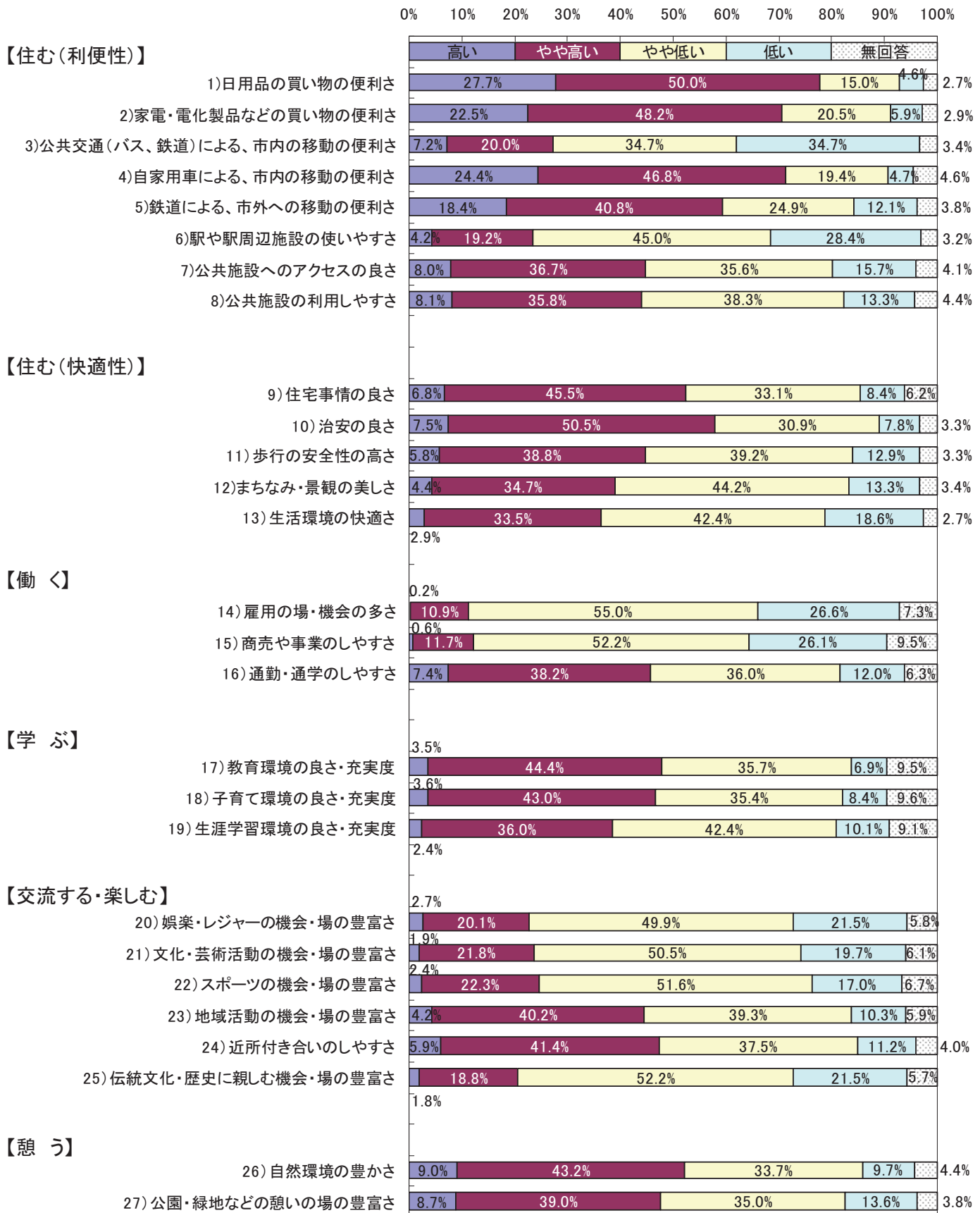
各設問について、5つの選択肢のうち上位の2つ(「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答)を選択した人の割合を満足度としています。



- 7割以上の設問で満足度が「向上」しました。また、このうちの6項目は前回から20ポイント以上の大きな伸びがありました。(生活環境、産業分野5項目、健康、福祉分野1項目)
- 逆に「低下」した6項目のうち、前回から10ポイント以上大きく落ち込んだものはありませんでした。

《生活都市の実現状況について》

H22.年4月実施 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査結果



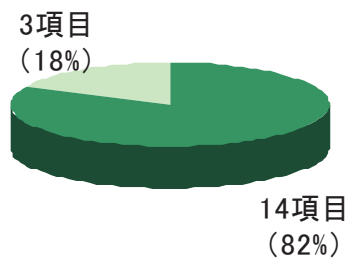
2. 各分野の目標達成状況

I 生活環境、産業分野

全体目標の平均目標達成率は、117.7%で概ね目標達成している状況といえます。個別目標の平均達成率は107.4%で、その内訳は「柱1 防災・地域防犯・交通安全」関係が109.2%、「柱2 消防・救急」関係が116.4%、「柱3 市民生活」関係が108.5%、「柱4 産業振興・雇用就労」関係が99.2%、「柱5 環境保全」関係が85.2%、「柱6 ごみ減量・処理」関係が137.3%でした。

犯罪や災害への不安が少なく、消防・救急体制が整い、また、ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境により、市民は安心・安全に暮らしている状態にあるものの、環境保全関係の柱は、90%には満たない達成状況であり、市民や市役所の今後の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



- 全体的に満足度は向上しており、特に「防災・地域防犯」、「消防・救急」に関する設問では大きな伸びがみられました。
- 一方で、「産業振興・雇用就労」に関する設問で満足度の低下がみられました。

◆主な取り組み

(市民)

- 災害発生時に効果的な対応ができるよう、自主防災会が主体となって、地域の実情に合った防災訓練を積極的に行いました。(柱1 防災・地域防犯・交通安全)
- 防災意識の高まりから、各家庭で、避難の際の非常持ち出し品や食料などを準備し災害への備えをしました。(柱1 防災・地域防犯・交通安全)
- 消防団(水防団)は、自分たちの地域は自分たちで守るという精神に基づき活動しました。(柱2 消防・救急)
- 住宅用火災警報器の設置など、積極的に火災予防に取り組みました。(柱2 消防・救急)
- 応急手当講習を受講し、積極的に応急手当の技術を身につけました。(柱2 消防・救急)
- ごみ減量「57 運動」に協力して、分別リサイクルの生活習慣を身につけながらごみ減量に取り組みました。(柱6 ごみ減量・処理)

(市役所)

- ・自主防災会の資機材購入費に対する助成と災害時要援護者支援資機材として車椅子用対応の仮設トイレなどを新たに配備しました。また、備蓄用食料として食物アレルギーをもつ人に配慮したアレルギーフリーの加工米（アルファ米）8,500食を購入し、災害時対応の充実に努めました。**(柱1 防災・地域防犯・交通安全)**
- ・平成20年6月1日から設置が義務化された住宅用火災警報器について、各種訓練・防火教室等の機会を利用して設置の必要性を啓発するとともに、ポスター・チラシ・市ホームページ・広報こうなんなどにより普及促進を図り、火災予防に努めました。**(柱2 消防・救急)**
- ・公共交通機関の空白地帯解消のため、デマンド方式による「いこまいCAR（予約便）」を平成21年10月1日から本格運行しました。**(柱3 市民生活)**
- ・江南市地域職業相談室は、経済不況の影響から大変多くの失業者が職を求めて来訪し、当相談室が手狭になる状況となったため、室内スペースを拡充することで来訪者への利便性向上に努めました。**(柱4 産業振興・雇用就労)**
- ・市内の公共施設等から出る落ち葉・草等のリサイクルについては、平成21年8月から処理方法を変更し、収集した剪定枝等をチップ化し、堆肥業者に堆肥原料として売払いました。**(柱6 ごみ減量・処理)**

◆主な成果

- ・自主防災訓練、地域防犯パトロール活動により、地域の意識が高まってきたこと。**(柱1 防災・地域防犯・交通安全)**
- ・消防・救急体制の充実強化が図られ、市民と共に講習会や訓練を実施することにより、災害活動に迅速、的確な対応ができるようになったこと。**(柱2 消防・救急)**
- ・戸籍の電算化により、窓口の待ち時間が短縮したこと。**(柱3 市民生活)**
- ・いこまいCAR予約便により、交通空白地域の解消に向け前進したこと。**(柱3 市民生活)**
- ・景気の落ち込みに伴い、中小事業者支援や失業者支援を行ったこと。**(柱4 産業振興・雇用就労)**
- ・地球温暖化防止や環境問題に対する取り組みを市民に啓発し、市民の環境保全に対する意識が向上したこと。**(柱5 環境保全)**
- ・ごみ減量57運動により可燃ごみの量が減ってきたこと。**(柱6 ごみ減量・処理)**

◆主な今後の課題


- ・地域の防犯・防災機能が低下しないよう、地域力を向上させる必要があること。**(柱1 防災・地域防犯・交通安全)**
- ・消防の広域化やデジタル無線化など、さらなる消防体制の充実を図る必要があること。**(柱2 消防・救急)**
- ・市民が安心して窓口サービスを受けられるような体制を整える必要があること。**(柱3 市民生活)**
- ・産業の活性化と観光客の誘客を図る必要があること。**(柱4 産業振興・雇用就労)**
- ・環境に配慮したライフスタイル、ごみのさらなる減量・リサイクルを推進するため、市民一人ひとりの意識づくりをする必要があること。**(柱5 環境保全・柱6 ごみ減量・処理)**

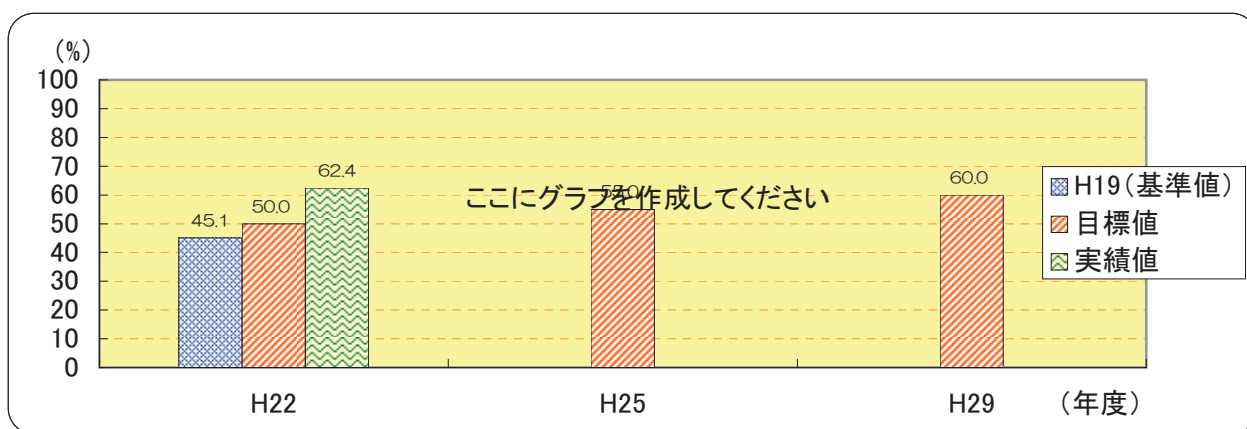
【担う分野：I 生活環境、産業分野】生活産業部

【担う柱：1 安心・安全な地域づくり】防災安全課(危機管理担当)

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている。


指標名	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	50.0	平成29年度の目標値60%をすでに達成しているが、これは校下別自主防災訓練の実施、防災資機材の助成、地域安全パトロール隊の活動、交通安全啓発等の継続によるところも大きいと思われる。また市民調査時点では、社会的影響の大きい犯罪や大きな災害が発生していなかったこともその一因でこのような結果となった。
実績値	%	45.1	62.4	
達成率	%	—	124.8	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価




すでに平成29年度目標値に達成しているが、校下別自主防災訓練の実施、防災資機材の助成などは地域の防災力の向上につながると考えられます。また、犯罪や交通事故にあわないためには市民一人ひとりの意識・行動が大切であるが、地域安全パトロール活動や防犯・交通安全啓発などは、市民・地域の意識が高まることにつながると考えられるので、引き続き更なる支援をお願いしたい。


個別目標① 災害への備えが行われている

指標名	非常持ち出し品や食料などを準備している市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	18.0	25.0	30.0	・自主防災組織運営事業 ・総合防災訓練事業
実績値	%	14.4	—	—	41.4	
達成率	%	—	—	—	138.0	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	総合防災訓練や自主防災訓練に継続的に取り組んだ。 5市町防災カレッジや各種研修会、講習会に参加し、災害は発生してからではなく、発生する前の予防、準備や心構えが大切であることを学んだ。
市役所	自主防災会主催による防災訓練、総合防災訓練の準備、会場設営、運営等を支援した。 自主防災会会長会議を開催した。 愛知県や周辺自治体で開催された講習会、研修に参加した。

指標名		防災用資機材助成の申請率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	84.0	88.0	90.0	・自主防災組織運営事業
実績値	%	83.8	83.8	86.8	77.9	
達成率	%	—	99.8	98.6	86.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	自分たちの地域は自分たちで守るという意志のもと、各地区が所有する資機材の保守、充実を図った。					
市役所	自主防災会長会議の中で資機材助成金の申請方法について説明するとともに、災害時における初動体制の充実を図った。					

指標名		危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合				
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	25.0	28.0	30.0	・防災行政無線更新事業 ・有事関連事業 ・危機管理事業
実績値	%	25.4	—	—	36.7	
達成率	%	—	—	—	122.3	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	愛知県が主催する国民保護に関する講演会に参加し、知識の向上を図るとともに、周辺自治体との情報共有を行った。					
市役所	新たな防災行政無線システムの構築(平成23年度完成)をめざし、主に移動系防災行政無線の工事を行った。 従来から使用していた移動系防災行政無線を撤去した。 市民の安全を確保するため、国民保護計画、地域防災計画を適切に運用するとともに、緊急事態等対処計画の策定に向けて取り組んだ。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>自主防災会の運営、地域の指導者の育成等を支援するとともに、自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守るといった自助、共助の精神と地域の自主性を育てていく必要がある。</p> <p>同報系防災行政無線及び戸別受信機、あんしん・安全ネットメールを活用し、今まで以上に情報伝達に要する時間を短縮することにより、被害を最小限に抑える。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>東日本大震災での報道等を見聞きして、災害予測の難しさ、災害復旧の大変さがあらためて痛感することができた。</p> <p>この地域でも過去の経緯からみて、近い将来必ず大きな地震が発生するのは確かなことから、予測可能な範囲で、できる対策(マンパワー、モノ、財源など)は立てていただきたい。</p>	

個別目標② 地域の防犯体制が整い、犯罪が減っている

指標名		犯罪発生件数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	件	—	1,800	1,700	1,600	・防犯対策事業
実績値	件	1,850	1,854	1,934	1,621	
達成率	%	—	97.1	87.9	98.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地域安全パトロール隊として定期的に地域のパトロールに参加した。 防犯ボランティア講座、防犯教室に参加した。 江南駅、街頭で防犯啓発活動を確認した。
市役所	安全なまちづくり県民運動に併せ広報啓発活動を実施した。 多発犯罪地域の古知野町地内を古知野区地域安全パトロール隊と一緒に合同パトロールを実施した。 県主催の防犯ボランティア講座、園児・高齢者を対象とした防犯教室を開催した。 江南警察署管内の犯罪発生状況をパトロール隊に、また、犯罪マップを作成しパトロール隊、保育園・小中学校に配布した。

指標名		地域安全パトロール実施率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	70.0	75.0	80.0	・防犯対策事業
実績値	%	59.2	79.4	89.7	91.1	
達成率	%	—	113.4	119.6	113.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地区に結成されたパトロール隊に所属した。
市役所	未結成地区にパトロール隊の設立を促進した。 結成されたパトロール隊に資材の助成を行った。




目標達成のための今後の展開方針

地域安全パトロール隊の結成の成果は上がっているが、他地区の地域安全パトロール隊との情報交換ができるコミュニケーションの場を設置するように検討する。

個別目標に対するまちづくり評価

犯罪発生件数について目標値の達成は、防犯啓発、意識の向上などソフト面の業務だけではなかなか困難であると思うが、犯罪の多発している地域、犯罪形態などを市民に情報提供できる方法を検討してほしい。

個別目標③ 交通事故が減っている

指標名	交通事故発生件数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	680	660	640	・交通安全事業 ・交通安全対策事業 ・交通安全施設設置事業 ・交通安全施設管理事業
実績値	件	698	644	673	670	
達成率	%	—	105.6	98.1	95.5	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	江南市女性交通安全クラブ員として交通安全キャンペーン、広報活動に参加した。 江南市交通安全推進協議会の委員として街頭監視活動に参加した。 江南駅、街頭で交通安全キャンペーンを確認した。
市役所	交通安全県民運動に併せ街頭啓発・広報を実施した。 交通事故死0の日に街頭監視活動を実施した。 園児・児童・高齢者を対象にした交通安全教室、高齢者自転車教室を実施した。

目標達成のための今後の展開方針

江南警察署から交通事故の状況など詳細に情報収集し、その内容を交通安全啓発や交通安全施設の設置箇所などの資料として利用する。

個別目標に対するまちづくり評価

交通事故は市民一人ひとりが注意し事故防止に努めることが第一であるが、幼児・児童・高齢者の交通安全教室の開催や交通安全啓発の評価はできる。また、交通安全の確保のために今後とも道路照明灯、道路反射鏡など交通安全施設の充実に向け設置をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

総合防災訓練及び校下別自主防災訓練の実施、防災資機材の助成などを継続的に実施したことにより、市民の防災意識、地域の防災力がある程度高めることができた。
防災行政無線(移動系)を整備することにより、市役所、各施設、関係機関との災害、非常時の連絡体制を確保することができた。
地域安全パトロール隊の活動、交通安全啓発等を通して、社会的影響の大きい犯罪や交通事故の減少・防止に寄与することができた。

◆柱全体の今後の課題

今後も事業を継続していく上で、コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防犯・防災機能が徐々に低下していくことが考えられるため、市役所がいかに地域の自主的活動を支援していくかが大きな課題となる。市役所としてもマンパワー、財源という点で、今後大幅な増強は困難であると考えられるため、解決していかなければならない課題に、優先順位をつけて取り組んでいく必要が求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

犯罪や災害から市民を守り、安心・安全な市民生活を確保するため、市民と市役所が協力して地域の防犯・防災力を強化する。
コミュニティの中でのまとめ役、市役所とのパイプ役を担い、かつ、継続して活動することができるリーダーを養成する。
防災行政無線システムやあんしん・安全ネットメールを活用し、市民にいち早く情報を伝達、共有することにより、災害・犯罪を最小限にとどめる。

卷末資料

- 1 成果目標一覧
- 2 まちづくり会議の開催経緯
- 3 まちづくり会議設置要綱
- 4 まちづくり会議の構成（委員名簿）

1 成果目標一覽

※平成22年度の実績値が本書発行時に未確定の指標については、その時点で把握できている最新の値を参考値として表示(カッコ内は測定年度)

I 生活環境、産業分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ	
					H22	H25	H29		
1 防災・地域防犯・交通安全	全体	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合	%	45.1 (H19)	50.0	65.0	70.0	P-17	
					62.4	***	***		
	個別①	非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合	%	14.4 (H18)	30.0	45.0	50.0		P-18
					41.4	***	***		
	個別①	防災用資機材助成の申請率	%	83.8 (H18)	90.0	95.0	100.0	P-19	
					77.9	***	***		
	個別①	危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	25.4 (H19)	30.0	40.0	50.0		P-20
					36.7	***	***		
	個別②	犯罪発生件数	件	1,850 (H18)	1,600	1,410	1,160	P-21	
					1,621	***	***		
	個別②	地域安全パトロール実施率	%	59.2 (H18)	80.0	94.1	100.0		P-22
					91.1	***	***		
個別③	交通事故発生件数(人身事故)	件	698 (H18)	640	580	500	P-23		
				670	***	***			
2 消防・救急	全体	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	42.1 (H18)	45.0	69.5		73.5	P-24
					66.5	***		***	
	個別①	消防団員(水防団員)の充足率	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-25	
					100.0	***	***		
	個別①	消防水利の充足率	%	82.2 (H18)	84.1	85.5	87.4		P-26
					83.1	***	***		
	個別①	救急救命士有資格者数	人	13 (H18)	16	21	22	P-27	
					18	***	***		
	個別②	防火管理者の選任率	%	66.4 (H18)	73.1	85.1	86.9		P-28
					84.7	***	***		
	個別②	危険物施設の立入検査改善施設指示率	%	24.9 (H18)	20.0	15.0	0.0	P-29	
					14.3	***	***		
	個別②	住宅用火災警報器の設置率	%	20.9 (H19)	50.0	60.0	70.0		P-30
					59.6	***	***		
	個別③	応急手当講習の受講者数	人	4,817 (H18)	5,300	5,600	6,100	P-31	
					5,577	***	***		
	個別③	薬剤投与救急救命士運用者数	人	1 (H18)	11	16	19		P-32
					12	***	***		
	個別③	心拍再開率	%	13.0 (H18)	17.0	27.0	30.0	P-33	
					24.6	***	***		
個別③	火災現場到着所要時間	分	7.9 (H18)	7.7	7.5	7.3	P-34		
				7.6	***	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
3 市民生活	全体	迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合	%	26.3 (H18)	40.0	60.0	80.0	P-26
					46.5	***	***	
	個別①	消費生活講座の受講者数	人	166 (H18)	200	230	240	P-27
					198	***	***	
		相談を受けて、悩みごとが解消した割合(消費者相談)	%	75.0 (H19)	80.0	85.0	90.0	P-28
					70.0 (H21)	***	***	
		相談を受けて、悩みごとが解消した割合(弁護士などの専門家による相談)	%	66.7 (H19)	70.0	75.0	80.0	P-29
					63.2 (H21)	***	***	
	消費者生活相談の件数	%	67 (H19)	75	***	***	P-30	
				75	***	***		
	個別②	弁護士など専門家による相談の件数	件	576 (H19)	600	***	***	P-31
					587	***	***	
	個別③	戸籍訂正の件数	件	87 (H18)	80	60	50	P-32
					63	***	***	
	個別④	正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合	%	94.5 (H19)	95.0	96.0	97.0	P-33
					91.1	***	***	
個別⑤	誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合	%	19.5 (H18)	25.0	30.0	35.0	P-34	
				24.6	***	***		
個別⑥	いこまいCAR定期便の利用率	人	0.73 (H20)	1.00	1.00	***	P-35	
				0.69	***	***		
個別⑦	いこまいCAR予約便の利用便数	便	1,120 (H20)	1,850	3,750	***	P-36	
				3,350	***	***		
4 産業振興・雇 就労	全体	生活産業が活性化し、住みよいまちであると感じる市民の割合	%	47.4 (H19)	48.0	49.0	50.0	P-37
					45.8	***	***	
	個別①	市内に雇用の場があり、活力あふれるまちであると感じる市民の割合	%	16.6 (H19)	20.0	24.0	30.0	P-38
					15.4	***	***	
	個別②	魅力ある商店街が形成されており、便利に買い物できると感じる市民の割合	%	21.8 (H18)	23.0	25.0	28.0	P-39
					23.8	***	***	
		商品販売額	億円	1,802 (H16)	1,802	1,802	1,802	P-40
					1,452 (H19)	***	***	
	製造品出荷額	億円	1,602 (H17)	1,602	1,602	1,602	P-41	
				1,180 (H21)	***	***		
	個別③	売上DI値	%	△19.4 (H18)	△16.0	△12.0	△8.0	P-42
					△49.1	***	***	
	個別④	コミュニティビジネスを展開している事業所数	所	不明 (H19)	↗	↗	↗	P-43
					***	***	***	
	個別⑤	起業家からの相談件数	件	0 (H18)	10	20	30	P-44
					2	***	***	
	個別⑥	職業紹介による就職者数	人	258 (H18)	350	890	900	P-45
					870	***	***	
	個別⑦	地域に雇用の場が確保され、十分な状態であると感じる市民の割合	%	7.2 (H18)	10.0	15.0	20.0	P-46
					8.3	***	***	
個別⑧	すいとびあ江南利用者数	人	146,263 (H18)	160,000	174,000	188,000	P-47	
				144,117	***	***		
個別⑨	畑地かんがい用水などの修理事件数	件	255 (H18)	240	240	240	P-48	
				138	***	***		
	認定農業者数	人	45 (H18)	50	53	57	P-49	
				42	***	***		
個別⑩	耕作放棄地の面積	ha	208 (H17)	190	170	150	P-50	
				217	***	***		
個別⑪	JA出荷額	千円	312,000 (H18)	312,000	312,000	312,000	P-51	
				263,000	***	***		

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
4 産業振興・雇 就労	個別⑤	多くの観光客で賑わい、観光の振興が十分な状態であると感じる市民の割合	%	27.3 (H18)	28.0	33.0	34.0	P-38
					32.3	***	***	
		観光客数	人	931,000 (H18)	937,000	1,340,000	1,347,000	P-39
					1,331,861	***	***	
イベントボランティア参加者数	人	440 (H18)	480	500	550			
			330	***	***			
5 環境保全	全体	日ごろから省エネや省資源など環境に配慮して生活している市民の割合	%	49.3 (H18)	51.7	80.0	82.0	P-41
					77.8	***	***	
	個別①	環境保全活動を行っている市民の割合	%	64.1 (H19)	66.0	68.0	70.0	P-42
					54.4	***	***	
	市民1人当たりの二酸化炭素排出量(炭素換算)	t.c/ 人・年	1.60 (H17)	1.32	1.32	1.32	P-42	
				1.49 (H21)	***	***		
	合併処理浄化槽設置数	基	4,200 (H18)	5,600	6,700	8,100		
				5,590	***	***		
	個別②	公害苦情件数	件	310 (H18)	263	244	218	P-43
					489	***	***	
					河川水質の環境基準達成項目数(PH(水素イオン濃度)BOD(生物化学的酸素要求量)SS(浮遊物質)DO(溶存酸素量))	項目	木曾川 全項目 日光川 3項目 (H18)	
大気中の窒素酸化物の量	ppm	二酸化窒素0.027 (H18)	→	→	→	P-44		
			0.027	***	***			
6 ごみ減量・処理	全体	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	%	64.0 (H18)	66.0	78.0	80.0	P-46
					75.8	***	***	
	個別①	市民1人1日当たりの家庭系可燃ごみ排出量	g	419 (H18)	396	394	394	P-47
					402	***	***	
		1事業所1年当たりの事業系可燃ごみ排出量	t	9.4 (H18)	7.5	7.4	7.4	
					8.4	***	***	
	リサイクル率	%	33.6 (H18)	35.0	36.0	36.0	P-47	
				32.4	***	***		
	ボランティア分別指導員の数	人	136 (H18)	246	336	456	P-48	
				215	***	***		
個別②	特定家庭用機器などの不法投棄台数	台	60 (H18)	56	33	30		
				18	***	***		
ごみ・し尿を速やかに収集、処理することで、衛生的に暮らしていると感じる市民の割合	%	82.2 (H19)	83.3	84.5	86.0	P-48		
			83.4	***	***			

II 健康、福祉分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 高齢者福祉	全体	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合	%	21.2 (H18)	30.0	40.0	50.0	P-61
					38.1	***	***	
	個別①	高齢者人口に占める要介護者の割合	%	13.0 (H18)	15.0	16.3	17.6	
					12.6	***	***	
	個別②	介護保険サービスを利用している割合	%	77.2 (H18)	80.0	82.0	85.0	P-62
					80.3	***	***	
	個別③	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合	%	28.5 (H19)	30.0	40.0	50.0	P-63
					34.5	***	***	
	個別③	シルバー人材センターの登録者数	人	491 (H18)	631	721	811	
					372	***	***	
個別③	老人クラブの会員数	人	6,866 (H19)	8,302	8,651	9,000		
				5,938	***	***		
2 子育て	全体	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子育てしていると感じる市民の割合	%	18.8 (H18)	25.0	40.0	50.0	P-65
					38.0	***	***	
	個別①	学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合	%	17.0 (H18)	25.0	40.0	50.0	
					36.4	***	***	
	個別①	保育園入園待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	P-66
					0	***	***	
					100	150	200	
	個別①	ファミリー・サポート・センター援助員数	人	85 (H18)	108	***	***	
					108	***	***	
	個別①	学童保育受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	
					0	***	***	
	個別②	子育て支援センター(子育てサロン)の利用者数	人	7,632 (H18)	8,700	10,500	11,000	P-67
					11,927	***	***	
	個別②	児童虐待発生件数	件	6 (H18)	27	***	***	
					27	***	***	
	個別③	児童館活動への延べ参加利用者数	人	132,393 (H18)	140,000	140,000	140,000	
					112,944	***	***	
	個別④	子どもフェスティバル来場者数	人	20,000 (H18)	30,000	30,000	30,000	P-68
					23,000	***	***	
	個別④	ひとり親家庭の自立人数	人	83 (H18)	90	90	90	
					89	***	***	
	個別④	母子家庭が自立するための就労への教育支援件数	件	6 (H18)	20	30	40	
					1	***	***	
個別⑤	市の母子通園施設への受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	P-69	
				0	***	***		
個別⑤	保育園の障害児受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0		
				0	***	***		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
3 障害者福祉	全体	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合	%	20.8 (H18)	31.3	39.3	50.0	P-71
					33.9	***	***	
	個別①	障害者の雇用率	%	1.46 (H18)	1.80	1.80	1.80	P-72
					1.56	***	***	
	個別①	公共施設のバリアフリー化率	%	60.1 (H18)	↗	↗	↗	P-72
					69.8	***	***	
	個別②	就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数	人	不明 (H18)	73	97	121	P-73
					21	***	***	
	個別②	施設入所支援サービスの利用人数	人	94 (H18)	87	87	87	P-73
					92	***	***	
個別②	訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数	人	77 (H18)	89	94	100	P-73	
				67	***	***		
4 健康づくり	全体	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合	%	72.4 (H19)	75.0	77.5	80.0	P-74
					73.1	***	***	
	個別①	健康診査受診率	%	67.7 (H19)	70.0	72.5	75.0	P-75
					65.5	***	***	
	個別①	運動習慣のある市民の割合	%	男 16.4 女 14.0 (H14)	男 27.0 女 24.0	男 32.0 女 29.0	男 37.0 女 34.0	P-75
					***	***	***	
	個別②	健康フェスティバル参加者数	人	1,600 (H18)	2,000	3,500	3,500	P-76
					3,332	***	***	
	個別②	予防接種(三種混合)接種率	%	89.4 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-76
					100.0	***	***	
	個別②	予防接種(BCG)接種率	%	98.1 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-76
					99.6	***	***	
	個別②	狂犬病予防注射接種率	%	83.6 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-76
					84.4	***	***	
	個別③	妊婦健康診査の受診率	%	95.3 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-77
					94.3	***	***	
	個別③	乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率	%	98.5 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-77
					97.8	***	***	
	個別④	かかりつけ医をもっている市民の割合	%	56.2 (H19)	60.0	65.0	70.0	P-78
					56.8	***	***	
病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合		%	49.3 (H18)	53.0	73.0	75.0		
				71.7	***	***		
休日急病診療所の受診者数		人	2,138 (H20)	2,200	2,200	2,200		
				2,197	***	***		
救急搬送件数	件	4,000 (H20)	4,000	4,000	4,000			
			4,399	***	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
5 保険年金	全体	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	56.1 (H18)	60.0	65.0	65.0	P-80
					60.0	***	***	
	個別①	国民健康保険給付実施率	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-81
					100.0	***	***	
		特定健康診査実施率	%	-	50.0	65.0	65.0	P-81
					46.2	***	***	
		福祉医療費助成実施率	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-81
					100.0	***	***	
	後期高齢者医療給付実施率	%	-	100.0	100.0	100.0	P-81	
				100.0	***	***		
国民健康保険税収納率(現年分)	%	91.7 (H18)	↗	↗	↗	P-82		
			90.1	***	***			
後期高齢者医療保険料納付率	%	98.9 (H20)	↗	↗	↗	P-82		
			99.1	***	***			
個別②	国民年金保険料納付率	%	69.4 (H18)	↗	↗	↗	P-82	
				62.9	***	***		
6 生活支援・福祉活動	全体	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合	%	33.4 (H19)	38.4	43.4	50.0	P-84
					40.4	***	***	
	個別①	生活保護世帯の自立した割合	%	13.5 (H18)	→	→	→	P-84
					19.2	***	***	
	個別②	社会福祉関係の団体数、参加人数	団体人	19 760 (H18)	21	25	25	P-85
					790	800	800	
		市内の福祉関係のNPO団体数	団体	3 (H18)	5	6	8	
					6	***	***	
	個別③	民生委員の相談支援件数	件	2,103 (H18)	↗	↗	↗	P-86
					2,193	***	***	
個別④	市の学習等供用施設の利用者数	人	121,286 (H18)	125,000	135,000	135,000	P-86	
				128,762	***	***		

Ⅲ 都市生活基盤分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 市街地整備	全体	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合	%	21.3 (H18)	26.0	37.0	40.0	P-97
					36.7	***	***	
	個別①	都市計画道路の整備率	%	64.5 (H18)	65.1	65.7	71.7	P-97
					65.8	***	***	
	個別②	駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合	%	8.8 (H18)	13.0	16.0	20.0	P-98
					15.0	***	***	
		江南駅・布袋駅の1日乗降客数	人	33,800 (H17)	33,800	34,200	34,600	
					32,566	***	***	
	江南駅前広場を通過する車両の台数	台	8,800 (H17)	6,000	5,000	4,000	P-99	
				6,544 (H21)	***	***		
個別③	土地区画整理事業の移転件数	件	106 (H18)	183	183	-	P-99	
				179	***	***		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
2 道路	全体	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合	%	35.5 (H18)	40.0	45.0	50.0	P-101
					40.4	***	***	
	個別①	市道のアダプト制度の登録者数	人	175 (H18)	583	1,166	1,750	P-102
					329	***	***	
	個別②	主要市道の歩道整備率	%	65.1 (H18)	69.0	72.0	75.0	P-103
					91.7	***	***	
個別③	舗装整備率	%	89.1 (H18)	91.0	93.0	95.0	P-103	
				57.0	***	***		
3 公園緑地	全体	ゆとりと潤いのある生活を送っていると感じる市民の割合	%	27.9 (H18)	42.1	49.2	56.2	P-104
					46.1	***	***	
	個別①	市民1人当たりの都市公園面積	㎡	2.52 (H18)	3.20	5.00	7.00	P-105
					3.65	***	***	
	個別②	花いっぱい運動実施箇所数	箇所	25 (H18)	27	33	34	P-106
					32	***	***	
個別③	地域で管理されている公園緑地などの数	箇所	28 (H18)	30	34	35	P-106	
				33	***	***		
4 下水道	全体	下水道普及率	%	18.5 (H18)	20.3	23.1	27.2	P-107
					21.6	***	***	
	個別①	下水道使用料の収納率(現年度)	%	98.9 (H18)	↗	↗	↗	P-108
					99.0	***	***	
	個別②	受益者負担金の収納率(現年度)	%	98.8 (H18)	↗	↗	↗	P-109
					97.8	***	***	
個別③	認可区域内の整備率	%	66.3 (H18)	79.0	86.2	95.7	P-110	
				80.2	***	***		
個別④	供用開始区域内の接続率	%	67.3 (H18)	83.0	89.0	93.0	P-110	
				80.4	***	***		
5 治水	全体	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	46.2 (H18)	53.0	64.0	66.7	P-110
					61.9	***	***	
	個別①	準用河川般若川改修率	%	86.0 (H18)	92.0	100.0	100.0	P-111
					92.0	***	***	
	個別②	雨水浸透柵設置率	%	12.2 (H18)	21.0	26.0	33.0	P-111
					7.0	***	***	
個別③	雨水浸透施設設置補助申請件数	件	45 (H21)	70	200	***	P-111	
				52	***	***		
6 住環境	全体	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合	%	47.9 (H18)	50.0	63.0	65.0	P-113
					61.3	***	***	
	個別①	開発許可や建築許可に対する指導件数	件	265 (H18)	260	260	260	P-114
					259	***	***	
	個別②	民間での建築確認割合	%	84.4 (H18)	90.0	93.0	95.0	P-114
					94.9	***	***	
個別③	耐震診断の診断実施済棟数	棟	798 (H18)	2,500	3,000	4,000	P-115	
				2,018	***	***		
個別④	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数	戸	153 (H18)	153	153	153	P-115	
				153	***	***		

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
7 上水道	全体	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合	%	78.8 (H18)	80.0	87.0	90.0	P-116
					86.4	***	***	
	個別①	水道料金の収納率(現年度)	%	98.4 (H18)	99.1	***	***	P-117
					106.2	106.2	106.2	
		総収支比率	%	109.7 (H18)	116.0	***	***	
					89.2	89.2	91.8	
	水道普及率	%	88.8 (H18)	89.5	***	***		
				77.8	81.9	86.9		
	個別②	配水管改良整備率	%	72.1 (H18)	77.7	***	***	P-118
					98.0	98.0	98.0	
		地下水の許可揚水量活用率	%	93.8 (H18)	91.5	***	***	
					92.5	93.0	94.0	
有収率		%	91.4 (H18)	94.1	***	***		

IV 教育分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 学校教育	全体	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身についていると感じる市民の割合	%	18.3 (H18)	20.1	39.4	41.3	P-127
					37.6	***	***	
	個別①	学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合	%	85.0 (H18)	90.0	95.0	100.0	P-128
					81.5	***	***	
	個別②	特別支援学級等支援職員配置人数	人	8 (H19)	10	15	20	P-129
					14	***	***	
		地域の人のあいさつする児童・生徒の割合	%	80.2 (H18)	87.0	94.0	100.0	
					79.2	***	***	
	職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数	事業所	273 (H18)	300	330	360		
				309	***	***		
	地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合	%	69.5 (H18)	79.0	89.0	100.0	P-130	
				82.4	***	***		
	個別③	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合	%	小学校 98.3 中学校 95.7 (H18)	98.0	99.0	99.5	P-131
					小学校 89.1 中学校 77.6	***	***	
		朝食を食べない日がある児童・生徒の割合	%	小学校 7.3 中学校 13.8 (H18)	小学校 0.0 中学校 3.0	小学校 0.0 中学校 2.0	小学校 0.0 中学校 1.0	
					小学校 9.0 中学校 15.2	***	***	
		学校給食における地場産物の割合	%	20.0 (H18)	35.0	35.0	35.0	
					28.5 (H21)	***	***	
個別④	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合	%	28.3 (H18)	31.1	49.7	52.5	P-131	
				46.8	***	***		
学校施設の耐震化率	%	61.8 (H18)	72.7	100.0	100.0			
			96.4	***	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
2 教育環境	全体	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合	%	30.1 (H19)	31.6	40.2	42.2	P-133
					38.7	***	***	
	個別①	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合	%	35.0 (H19)	36.5	38.0	40.0	
					35.9	***	***	
	個別②	不登校の児童・生徒数の割合	%	小学校 0.5 中学校 4.5 (H18)	小学校 0.3 中学校 2.7	小学校 0.2 中学校 2.0	小学校 0.1 中学校 1.5	P-134
					小学校 0.5 中学校 3.8	***	***	
	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合	%	51.5 (H19)	53.0	54.5	56.5		
				50.6	***	***		
3 生涯学習	全体	生涯学習活動に参加している市民の割合	%	19.9 (H19)	21.4	22.9	24.9	P-136
					16.6	***	***	
		生涯学習講師人材バンク登録者数	人	126 (H18)	150	165	185	
					130	***	***	
	個別①	愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数	人	2,011 (H18)	2,100	2,190	2,310	P-137
					1,561	***	***	
		1人当たりの図書等の貸出点数	冊	3.3 (H18)	4.2	5.1	6.4	
					3.9	***	***	
	個別②	屋内のスポーツ施設の稼働率	%	84.1 (H18)	85.0	85.0	85.0	P-138
					90.6	***	***	
		屋外のスポーツ施設の稼働率	%	29.7 (H18)	33.0	36.3	39.6	
					36.6	***	***	
		コミュニティ・スポーツ祭の参加者数	人	5,289 (H18)	5,800	7,000	7,000	
					6,363	***	***	
	個別③	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.4 (H18)	25.0	30.0	35.0	P-139
24.2					***	***		
	男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合	%	60.5 (H17)	70.0	70.0	70.0		
				88.3	***	***		
4 文化・交流	全体	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合	%	21.5 (H19)	24.5	27.5	31.5	P-141
					20.8	***	***	
	個別①	文化芸術活動を行っている市民の割合	%	1.3 (H18)	1.4	1.5	1.7	
					1.1	***	***	
		市民文化会館の稼働率	%	47.8 (H18)	50.8	53.8	57.8	P-142
					46.8	***	***	
	個別②	指定登録文化財の数	件	国 5 県 9 市 92 登録 2 (H18)	国 5 県 9 市 92 登録 2	国 5 県 9 市 92 登録 3	国 5 県 9 市 92 登録 3	
					国 5 県 9 市 92 登録 3	***	***	
	文化財普及事業への参加者数	人	5,647 (H18)	5,800	5,950	6,150	P-143	
				10,694	***	***		

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
4 文化・交流	個別③	江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数	人	220 (H18)	280	360	500	P-144
					370	***	***	
		江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数	人	1,800 (H18)	2,000	5,600	5,700	
					6,870	***	***	
		世界平和を願うパネル展の来場者数	人	1,198 (H18)	1,300	1,400	1,500	
					903	***	***	

V 経営、企画分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 地域経営	全体	ボランティア活動や地域活動への参加意思のある人の割合	%	46.6 (H18)	55.0	63.0	70.0	P-154
					38.2	***	***	
	個別①	ボランティア団体及びNPOの数	団体	105 (H18)	150	175	200	P-155
					139	***	***	
		アダプト制度の登録割合	%	0.67 (H18)	2.0	4.0	6.0	
					0.44	***	***	
		地縁団体の組織数	団体	33 (H18)	41	48	55	
					37	***	***	
	公募型協働支援補助事業採択団体数	団体	-	10	10	***		
				4	***	***		
	個別②	市ホームページのアクセス件数	件	309,105 (H18)	340,000	580,000	900,000	P-156
					585,824	***	***	
		広報を読んでいる市民の割合	%	86.3 (H19)	88.0	89.0	90.0	
					83.4	***	***	
「市長への手紙」「市政へのアイデア・提案」の投書件数	件	268 (H18)	400	450	500	P-157		
			317	***	***			
2 行政経営	全体	基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率	%	-	100.0	100.0	100.0	P-159
					115.3	***	***	
		基本計画に掲げられた個別目標の平均達成率	%	-	100.0	100.0	100.0	
					100.5	***	***	
	個別①	事務事業が改善された割合	%	65.2 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-160
					85.2	***	***	
		住民説明会の参加人数	人	1,456 (H17)	1,600	1,800	2,000	
					1,241	***	***	
		広域行政事業数	事業	8 (H18)	10	12	13	
					10	***	***	
	マネジメント・グループ制が適切に機能していると感じる組織の数	課	8 (H20)	23	19	***		
				12	***	***		
	個別②	経常収支比率(単年度)	%	86.0 (H18)	83.0	80.0	75.0	P-161
					82.2	***	***	
		実質公債費比率(前3年度平均)	%	10.1 (H18)	10.0	7.0	7.0	
					5.9	***	***	
	財政力指数(単年度)	-	0.91 (H19)	0.92	0.95	1.00		
				0.82	***	***		
	個別③	政策形成とマネジメント能力をもった職員を育てる研修などの職員1人当たり平均受講回数	回	0.9 (H18)	1.0	1.0	1.0	P-163
					0.8	***	***	
自己啓発をしている職員の割合		%	33.6 (H18)	40.0	50.0	60.0		
				46.4	***	***		
成果目標を意識して、仕事に取り組んだり、業務の改善を心がけている職員の割合	%	69.0 (H18)	80.0	90.0	100.0			
			72.7	***	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
3 課税・収納	全体	税が公平・適正に課税・収納されていると感じている市民の割合	%	37.0 (H19)	40.0	50.0	60.0	P-165
					37.4	***	***	
	個別①	返戻納付書の件数	件	10 (H19)	4	2	0	P-166
					11	***	***	
	個別②	収納率(市税現年度課税分)	%	98.4 (H18)	↗	↗	↗	P-167
					98.0	***	***	
個別②	口座振替加入率	%	35.2 (H18)	36.0	38.0	40.0	P-167	
				35.7	***	***		
4 行政事務管理	全体	市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合	%	53.5 (H19)	60.0	65.0	70.0	P-168
					54.2	***	***	
	個別①	情報公開制度に基づく不服申立て件数	件	0 (H18)	0	0	0	P-169
					0	***	***	
	個別①	個人情報の漏洩件数	件	0 (H18)	0	0	0	P-169
					0	***	***	
	個別①	電算化した業務数	件	54 (H18)	↗	↗	↗	P-169
					61	***	***	
	個別②	普通財産に占める未利用地の割合	%	9.2 (H18)	8.3	7.9	7.9	P-170
					11.0	***	***	
	個別②	歳計現金の有利子運用の割合	%	32.0 (H18)	↗	↗	↗	P-170
					70	***	***	
個別③	市長・市議会議員選挙投票率	%	市長 60.2 市議 60.2 (H19)	-	(H23) 市長 65.0 市議 65.0	(H27) 市長 65.0 市議 65.0	P-170	
				-	***	***		
個別③	決算審査における意見等指摘件数	件	6 (H18)	0	0	0	P-171	
				10	***	***		
5 議会運営	全体	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合	%	18.6 (H19)	↗	↗	↗	P-174
					28.0	***	***	

2 まちづくり会議の開催経緯

年度	月 日	項 目
平成20年度	7月16日	(分野別会議) まちづくり会議の役割や江南市戦略計画について説明し、まちづくり会議の分野別会議を行いました。
		【全体会議】 まちづくり会議の役割や江南市戦略計画について説明し、まちづくり会議の全体会議を行いました。
平成21年度	10月23日 ～ 11月12日	(分野別会議) 平成20年度施策評価結果について説明し、意見交換を行いました。 ○ 生活環境、産業分野(10/23,10/29,11/2) ○ 健康、福祉分野(10/23,10/29) ○ 都市生活基盤分野(10/23,11/4) ○ 教育分野(10/23,10/28,11/12) ○ 経営、企画分野(10/23,10/29)
	12月18日	【全体会議】 「平成20年度施策評価結果」について、分野別会議で意見交換した内容を説明し、分野を横断した課題について意見交換を行いました。
平成22年度	10月4日 ～ 10月12日	(分野別会議) まちづくり評価及び戦略計画見直しの内容について説明し、意見交換を行いました。 ○ 生活環境、産業分野(10/4,10/8,10/18) ○ 健康、福祉分野(10/4,10/13,10/21) ○ 都市生活基盤分野(10/4,10/13) ○ 教育分野(10/4,10/12) ○ 経営、企画分野(10/4,10/12)
	11月8日	【全体会議】 分野別会議で検討された「まちづくり評価及び戦略計画の見直し」の結果について説明し、意見交換を行いました。

年度	月 日	項 目
平成22年度	1月18日 ～ 2月1日	まちづくり会議の各分野の分科会長は、各小学校区ごとに開催された住民説明会で各分野の成果と課題について報告をしました。
平成23年度	10月4日 ～ 10月 日	<p>（分野別会議）</p> <p>達成状況報告書の内容について説明し、意見交換を行い、報告書をまとめました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活環境、産業分野(10/4,) ○ 健康、福祉分野(10/4,) ○ 都市生活基盤分野(10/4,) ○ 教育分野(10/4,) ○ 経営、企画分野(10/4,)
	11月 日	<p>【全体会議】</p> <p>分野別会議で検討された「達成状況報告書」の内容について説明し、意見交換を行い、報告書をまとめました。</p>



住民説明会の様子

3 江南市まちづくり会議設置要綱

(目的)

第1条 市民と市役所が協働で江南市戦略計画（以下「計画」という。）に基づくまちづくりの進捗状況を検証し、計画に掲げられた市民の役割を推進するための啓発を行い、計画の見直しを検討するため、江南市まちづくり会議（以下「会議」という。）を置く。

(組織)

第2条 会議は、全体会議及び分野別会議により構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 平成20年4月1日現在において満18歳以上の者で、市内に在住、在勤又は在学している者であって公募に応じた者
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 学識経験者
- (4) 課長及びこれに相当する職の市職員

3 委員の任期は、委嘱の日から4年以内とする。

(全体会議)

第3条 全体会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 計画に基づくまちづくりの評価のとりまとめ
 - (2) 計画の達成状況報告書の作成
 - (3) 計画の市民の取り組みの意見交換
- 2 全体会議は次に掲げる者をもって組織し、定員を17人以内とする。
- (1) 次条に定める各分科会の会長、副会長及び市職員の代表者
 - (2) 学識経験者
- 3 全体会議に議長及び副議長各1人を置き、委員の互選により選出する。
- 4 議長は、全体会議を代表し、会務を総理する。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるとき又は議長が欠けたときは、その職務を代理する。

(分野別会議)

第4条 分野別会議は次に掲げる分科会をもって構成し、各分科会の定員を15人以内とする。

- (1) 第1分科会（生活環境、産業分野）
- (2) 第2分科会（健康、福祉分野）

- (3) 第3分科会（都市生活基盤分野）
 - (4) 第4分科会（教育分野）
 - (5) 第5分科会（経営、企画分野）
- 2 分野別会議は、第2条第2項の会議の委員で組織する。
 - 3 分野別会議の所掌事務は、次のとおりとする。
 - (1) 各分野における計画の目標達成度の評価
 - (2) 各分野における計画の市民の取り組みの意見交換
 - 4 各分科会に会長及び副会長を各1人置き、委員の互選により選出する。
 - 5 会長は、分科会を総理し、会議の議長となる。
 - 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（庶務）

第5条 会議の庶務は、経営企画部行政経営課において処理する。

（雑則）

第6条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

4 江南市まちづくり会議の構成（委員名簿）

（平成23年10月4日現在）

I 生活環境、産業分野

区分	氏名
公	馬場 紀久世
公	古田 清一
公	◎ 宮川 秀男
公	望月 晴夫
団	○ 岩井 喜美子
団	川瀬 正子
団	細川 幸子
団	前田 哲郎
職	永井 嘉信
職	小塚 昌宏
職	大藪 勝寛
職	伊藤 幸実
職	伊藤 吉弘
職	大森 幹根

II 健康、福祉分野

区分	氏名
公	伊藤 倫子
公	○ 小椋 雅江
公	杳名 珠子
公	福田 正義
団	◎ 平松 宏幸
団	松尾 昌之
団	水野 純子
団	渡部 敬俊
職	安藤 利継
職	佐藤 和弥
職	前田 明廣
職	箕浦 規師
職	菱田 幹生

III 都市生活基盤分野

区分	氏名
公	鈴木 輝親
公	能祖 優
公	藤田 泰雄
公	和田 政明
団	市川 七生
団	◎ 加藤 幸治
団	佐橋 浩昭
団	○ 柴田 広美
職	吉野 賢司
職	丹羽 鈇貢
職	小池 郁夫
職	沢田 富美夫
職	大森 淳一
職	鵜飼 俊彦

IV 教育分野

区分	氏名
公	伊神 良祐
公	加藤 和夫
公	◎ 柴田 熙
公	高崎 悟
団	○ 滝 滋
団	津田 喜代治
団	中川 昭人
団	丸井 ささぐ
職	鈴木 慎也
職	伊神 眞一

V 経営、企画分野

区分	氏名
公	太田 靖子
公	尾関 順久
公	高津 美佐子
公	早瀬 裕子
団	飯島 和代
団	○ 大前 温子
団	◎ 奥村 忠
団	脇坂 康彦
職	大竹 誠
職	武田 篤司
職	山田 敏彦
職	尾関 安巳
職	小岩 賢三
職	野村 和典
職	脇田 和美
職	岩田 高志
職	川瀬 和己

学識経験者

区分	氏名
-	中田 實
-	武長 脩行

敬称略

◎は会長

○は副会長

公・・・公募市民

団・・・各種団体の代表者

職・・・市職員